

👉 令和2年民間給与実態統計調査結果

Q : 令和2年の民間給与実態統計調査結果が公表されたそうですが、どのような内容だったのですか？

A : 次のような内容でした。

【解説】

さきごろ、国税庁から「令和2年分民間給与実態統計調査結果について」が公表されました。

主な内容は、次のとおりです。

① 給与所得者数

給与所得者数は5,928万人で前年対比62万人(1.0%)の減少でした。

② 給与総額及び源泉徴収税額

給与の総額は219兆2,054億円で、前年対比12兆3,992億円(5.4%)の減少でした。源泉徴収された所得税額は10兆3,411億円で前年対比7,984億円(7.2%)の減少でした。

③ 平均給与

1年を通じて勤務した給与所得者の平均給与は433万円(前年比0.8%減)で、男性は532万円(同1.4%減)、女性は293万円(同1.0%減)でした。このうち、男性給与の内訳は、給与手当が449万円(同0.1%増)、賞与が83万円(同8.6%減)で、女性給与の内訳は、給与手当が254万円(0.4%増)、賞与が39万円(同8.9%減)でした。

④ 納税者数及び税額

給与所得者のうち、源泉徴収により所得税を納税している者は4,452万人で、その割合は84.9%、税額は10兆7,126億円、給与総額に占める税額の割合は5.07%でした。

